

# 『特別な支援を必要とする子供たちに、 学校図書館ができること』



日時:2019年3月3日(日) 10:00~14:30

講師:野口武悟氏(専修大学教授)

学校図書館にいて子供たちと接していると、「この子は字が読めているのだろうか」「字は読めているようだけど、文章として理解できているかしら」と思うことはありませんか。

2016年4月に、障害者差別解消法が施行され、公立学校の図書館も合理的配慮と基礎的環境整備が義務化されました。視覚障がいのサポートとして読書補助具が販売され、大活字本やLLブック等も出版されています。

今回は、午前中、野口武悟先生に、学校図書館の合理的配慮について講演していただきます。具体的に資料を見せていただけます。先生は、司書教諭や学校司書の養成にも関わっていらっしゃいますので、お時間が許せば学校司書に必要な資質についてもお話していただく予定です。

午後は講演を受けて、学校図書館で特別な支援を必要とする児童生徒に配慮していること(これから配慮したいこと)を、グループ討議します。

会員外の方の参加も受け付けます。ぜひ、お近くのお仲間を誘ってご参加ください。

## 【講師の主な著書】

『多様性と出会う学校図書館 一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ』(読書工房/2015)

『図書館のアクセシビリティ「合理的配慮」の提供へ向けて』(樹村房/2016)

『学校図書館基本資料集』(全国学校図書館協議会/2018)

『障害者とともに生きる本 2500冊』(日外アソシエーツ/2017)

『子どもの本—情報教育・プログラミングの本 2000冊』(日外アソシエーツ/2018)

**会場: 船橋市勤労市民センター3階 第三会議室**

**参加費 会員: 無料 会員外: 500円 \*定員 40名**

\*昼食は会場で食べられます。ご持参下さい。

\* 船橋市勤労市民センター \*

・ JR船橋駅・京成船橋駅共徒歩約5分・駐車場はありません <http://funabashi-ksc.or.jp/>

**\* 定員になり次第締め切ります。お早目にお申込み下さい。**

△支部会員の申し込みは、メーリングリストまたは事務局 中村まで。

△会員外の申し込みは、お近くの支部会員もしくは

千葉支部HPからお申込み下さい。 <http://gakutoken.net/chiba/>